

年間授業計画

足立工科 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科： 理科 科目： 物理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（ 1～4組：林 和寛）

使用教科書：（ 東京書籍 改訂 新編物理基礎 ）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことを行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標： 物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数	
1 学期	物体の運動 ・物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解させる。	・速さと速度 ・速度の合成 ・相対速度 ・等速直線運動	【知識・技能】 物体の変位や速度などを理解し、等速直線運動を理解することができる。 【思考・判断・表現】 物体の変位や速度などを考えたり、x-tグラフやv-tグラフから物体の運動を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動に興味をもち、物体の直線運動などを調べようとする	○	○	○	8	
	定期考査			○	○		1	
	物体の運動 ・物体の運動の基本的な表し方について、直線運動を中心に理解させる。	・加速度 ・等加速度直線運動 ・重力加速度と自由落下	【知識・技能】 物体の加速度や加速度運動を理解することができる。 【思考・判断・表現】 物体の加速度を考えたり、加速度運動のx-tグラフやv-tグラフを考えたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体による速度の変化の様子に興味を持ち、その違いについて調べようとする。	○	○	○	14	
定期考査			○	○		1		
2 学期	力と運動 ・物体にはたらく力のつり合いを理解させる。 ・運動の三法則を理解させる。 ・様々な力がはたらくときの物体の運動を理解させる。	・力の合成と分解 ・作用・反作用の法則 ・慣性の法則 ・運動の法則 ・運動方程式の立て方	【知識・技能】 力の性質や力のつり合いを理解し、物体にはたらく力を表したり、合力・分力を描いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 力がはたらいた物体の運動の様子から運動の三法則を確認し、グラフを作成して運動方程式を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動に興味をもち、力の性質や力がはたらいたときの物体の運動を調べようとする。	○	○	○	15	
	定期考査			○	○		1	
	仕事とエネルギー ・物理における仕事とは何かを理解させる。 ・運動エネルギーについて、仕事と関連づけて理解させる 位置エネルギーについて、仕事と関連づけて理解させる。 ・力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連づけて理解させる。	・仕事 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギー保存の法則	【知識・技能】 物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換することで、力学的エネルギーが保存されることがわかる。 【思考・判断・表現】 物体の運動エネルギーと位置エネルギーが相互に変換することと、それらの和が一定に保たれることを、力学的エネルギー保存の法則として確認している。 【主体的に学習に取り組む態度】 仕事が力学的にどのような意味をもつか、力学的エネルギーとはどのようなものを調べようとする。	○	○	○	14	
定期考査			○	○		1		
3 学期	熱とエネルギー ・熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解させる。 ・熱とその量及びその移動について理解させる。	・熱と温度 ・熱量の保存 ・熱と仕事	【知識・技能】 熱と温度とは何であるか理解することができる。 【思考・判断・表現】 熱とエネルギーを関連づけて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 熱運動と、物理量としての熱を理解し、熱と仕事の変換について調べようとする。	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70